



## 新たな気持ちで

校長 薄田 秀明

校庭の木々が芽吹き、春の訪れを感じる季節となりました。子どもたちの元気な声が学校に戻り、令和8年度の教育活動がいよいよ始まりました。60名の卒業生を送り出し、30名の新入生を迎え、ひとつ学年が上がった子どもたちの表情には、新しい出会いや挑戦への期待とともに、少しの緊張も見られます。このような節目の時期に、子どもたち一人ひとりの成長を支える学校として、新年度を迎えられましたことを大変うれしく思います。

本校では、「自分を大切にできる子 共に生きる子 山元の子」の育成を学校教育目標に掲げています。社会の変化が激しく、将来の予測が難しい時代において、子どもたちには、知識や技能を身に付けるだけでなく、自ら課題を見つけ、考え、他者と協力しながら解決していく力が求められています。学校は、子どもたちが安心して学び、失敗を恐れず挑戦し、そこから学びを深めていくことのできる場でありたいと考えています。

今年度も、日々の授業を大切にしながら、子どもたちが「わかった」「できた」という達成感を積み重ねられるように取り組んでまいります。また、行事や学級活動、委員会・クラブ活動、たてわり活動などを通して、友達や他学年の児童との関わりの中で相手の気持ちを考え、互いを認め合い、協力する力を育てていきます。人と関わる経験の一つひとつが、子どもたちの心の成長につながるよう、教職員一同、丁寧な指導と温かな支援を心がけてまいります。

学校生活において、子どもたちは楽しいことばかりでなく、時には悩んだり、壁にぶつかったりすることもあります。そのような時こそ、大人が子どもの声に耳を傾け、共に考え、寄り添うことが大切だと考えています。子どもたちが「**自分は大切にされている**」「**ここには自分の居場所がある**」と感じられる学校づくりを、今年度も進めてまいります。

また、学校教育は学校だけで成り立つものではありません。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力があったからこそ、子どもたちは安心して成長することができます。学校だよりや学校ホームページ等を通して、学校の様子をお伝えするとともに、皆様からのご意見やご支援をいただきながら、よりよい学校づくりに努めていきたいと考えています。

学校だよりも新たに様式を刷新いたしました。より読みやすく、学校の様子や大切なお知らせが分かりやすく伝わるよう、レイアウトや構成を見直しております。

今後は、子どもたちの学校生活の様子や教育活動の取り組みについては、題字下にある学校ホームページのアドレスからアクセスしてみてください。

子どもたち一人ひとりが、自分の可能性を信じ、前向きに学び続けられる一年となるよう、教職員一同、力を合わせて教育活動に取り組んでまいります。

令和8年度も、本校の教育活動への変わらぬご理解と温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。